

中等科

企画課管理用 教 一 C 一 3

推進主体	中等科
責任者	中・高等科長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
教	一	C	学年主管の増員	令和 4 年度	令和 8 年度	あり(予定)

① 目的・内容

年々多様化する生徒や保護者への対応は、主管となる教員にとって多くの時間と労力を要する業務となっている。きめ細やかな対応を継続するためには、主管業務を行う教員を増員し、負担の軽減を図ることが急務となっている。現在のクラス数に合わせた5人体制から、さらに1名を増員した6人での体制へと移行すべく様々な検討を行い、実現を図る。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

令和4年度前半までに基本的な制度設計を完了させる。令和5年度に中等科1年生での導入を目指す。翌年以降の2年生、3年生での導入の是非について検討を重ね、さらなる生徒や保護者に対する質の高い対応の実現を目指す。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定		・主管増員に必要な事柄を検討 ・制度内容について吟味	・中等科1年生で実施	・上級学年での実施是非を検討		・通常制度化へ	
				・制度の有効性について検討			

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
( 令和 4年度 )	制度設計と吟味	主管へのサポートの在り方について議論を行った。 今後は、現行5名の他に補助的な人員を設ける形に留まらず、主管業務の軽減に向けた多様なサポートの在り方を視野に入れて慎重に検討する。
( 令和 5年度 )	主管業務軽減の在り方を慎重に検討する。	日常的な主管業務の中での難しさについて、管理職との情報共有を行った。
( 令和 6年度 )	日常的な主管業務の中での難しさについて、管理職との情報共有を行い、業務軽減の在り方を慎重に検討する。 ブランディングの議論のなかで検討できることを模索する。	日常的な主管業務の中で発生する困難についての管理職との情報共有に基づき、個別のケースに対して管理職が適宜サポートに入って対応した。組織としての在り方への関心が高まった。
( 令和 7年度 )	主管業務軽減のための施策を検討するにあたり、組織変更を伴う中期的な対応についてブランディングの議論を意識しつつ検討し、併せて現体制で行うべき短期的な対応を検討し、実施の方向を模索する。	主として主管業務の負担軽減を目的として業務内容の見直しと改善に着手した。少子化対策の議論と重なることとして、親子関係の変容に伴うニーズの多様化への対応の在り方について検討した。
( 令和 8年度 )	主管業務軽減のための施策を検討するにあたり、学年主任の在り方など、組織変更を伴う中期的な対応について引き続き検討する。	